

2025 年 5 月 探究保育 活動報告書

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 らいおん 組	5 月 29 日 (木)	平田 顕子

● 実施計画

活動テーマ		
サイエンス ～天気～ くもと雨についてしよう		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
日頃から子どもたちは空を見上げて雲の形や天気の変化に興味を示しており、「今日は晴れるの?」「雲はどうやってできるの?」などの質問が多く見られる。また、雨が降ったり風が強く吹いたりすることにも関心をもち、天気が変わる理由について知りたがる様子がある。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
10:00~10:05	<p>・「公園に行った日はどんな天気だったか覚えている?」「公園に行って遊ぶことが出来る日はどんな天気?出来ない日はどんな天気?」「どんな天気があるのかな?」等と問いかけをして振り返りや発言がしやすいよう工夫する。</p> <p>・くもりと雨について考えていく。雲はどのように表れるのか?どのように出来るのかを子どもたちに聞く。</p> <p>・意見はホワイトボードにまとめる。</p> <p>・「雲はどこからくるのかな?」「雲は何でできているのかな?」「雲はどんな形がある?どんな色がある?」「雨はどこからくるのかな?」「雨は何でできているのかな?」と問いかけ、イメージしやすいように声をかける。</p>	<p>【環境設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 室内で写真や図を見ながら話し合えるスペースを確保する。 ・ 室内で実験が安全に行えるスペースを確保する。 <p>【準備物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ レインコート ・ 長靴 ・ 雲の写真集 ・ 雲・雨・雪の発生原理の図

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>・本活動では、雲の仕組みや特徴、雨が出来る仕組みについて、写真や図を使った観察を通じて学んだ。</p> <p>・導入では、天気についての話を広げ、子どもたちの知識や疑問を引き出した。その後、さまざまな雲の写真を見ながら違いを考え、雲の作り方についてグループで意見を出し合った。</p> <p>・実際の雨天に散歩に行き、公園のあれ雨の差を体感した。</p>	<p>【子どもの姿・声】</p> <p>「雲って空のどこからくるの?」など、子どもたち同士で意見を交換しながら、「こういう雲は雨が降るときにできるのかな?」と話し合う様子が見られた。</p> <p>・雨の中の散歩は、公園内の違いだけではなく、道路が滑ることなどの危険も体験することが出来た。</p>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>・実験が上手くいくかという結果に注目してしまいがちだが、本テーマである雲と雨に結び付けた観察ができるような問いを行ったことで、それぞれのチームでの実験結果の差がより天気への不思議さを広げるきっかけとなった。</p> <p>・予想を立てることが難しい子もいたが、子どもたち同士で意見を共有することで考えを深められた。</p> <p>・雲の写真を見比べることで、子どもたちが違いに気づき、興味をもちやすかった。</p> <p>・結果を見てすぐに納得するのではなく、「どうしてだろう？」と考え続ける時間をもっと作ると良いと感じた。</p>	<p>天候のさや道路の危険を体感できたことはとても良い経験だったともいます。</p> <p>身近な経験を重ねることで様々な方向に視点が向くようになるので大切にしましょう。</p>

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 らいおん 組	8 月 20 日 (水)	中村 裕司

● 実施計画

活動テーマ		
たべもの ～野菜～ 野菜はどこにできるの？		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
給食の際に野菜が苦手で残してしまう子が多い。野菜は苦手だが、特定の野菜なら食べられる子もいる。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
15:00～15:10	今日の給食でどんな野菜が出たのか考える。	【環境設定】 ・子どもたちが自由に発言できる雰囲気を作る。 ・正解を求めるのではなく、予想し考える態度を大切にする。
15:10～15:20	絵本を見て、土の中で育つ野菜と土の上で育つ野菜があることを知る。	【活動使用教材】 ・野菜カード ・野菜の絵本 ・野菜の図鑑 ・土 ・iPad、タブレット、PCなど(保育者が調べるために使用) ・ホワイトボード ・ホワイトボードマーカー
15:20～15:40	・実際に土に触れてみる	【事前準備】 ・野菜カード
15:40～15:50	一緒に図鑑を見ながら、どこにできるかを確認する。	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>・給食にでてきた野菜を挙げてもらってから、野菜に関する絵本を読み、野菜には土の中に育つものと土の上に育つものがあることを知る。そのうえで、今日の給食に出てきた野菜がどちらで育ったものなのか考える。最後には図鑑を見てどこで育つものなのか確認する。実際に土に触れることもでき良い体験となった。</p>	<p>・「どんな野菜が出てきたのかな」と問いかけると、自分たちが食べたものを思い出しながら話す姿があった。野菜が土の中に育つもの、上に育つもの様々であることは知ってはいたが、いざ絵本で具体的に知ることで「そうなんだ」と驚く様子があった。</p>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>・野菜が苦手な子供が多かったので、活動にそのような影響が出るかと心配な気持ちがあっただけの取り組みだったが、普段給食にでないような野菜の名前を知っていたり、意欲的に考えたり、興味を持って参加する姿が見られた。また身近な題材であり、意見が出しやすく参加しやすかったように思う。</p>	<p>・給食では食べていなくても家庭で食べていたり、外食で知っているような野菜もあつたり、経験からの意見が出てきたところはよかったと思う。秋の大根堀では実際の畑での収穫が体験でき、残さずに食べたり家庭でレシピを考えたりすることで、今回の興味がさらに深まっていけるように収穫の準備を進められるように関連付けられるとよいと思う。</p>

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 らいおん 組	10 月 14 日 (火)	中村 裕司

● 実施計画

活動テーマ	
アート～旗を作ってみよう～	
活動テーマに関する 日頃の興味関心について	
・学びを机上だけではなく、実際に政策へと繋げ、実感をもてるように言葉掛けをする。	
活動スケジュール	環境設定 ・ 準備物
時間	内容
13:00～13:05	・「洋服の色を聞いてみたいと思います」と伝え、自分の洋服の色や友達の洋服の色を自分の知っている言葉で発表する。
13:05～13:10	・「自分の好きな色を自分だけで作ってみたら、どんな色にしたい？」と問いかける。何があればできそうかなと聞いてみる。
13:10～13:30	・「もともと色が混じってできたものはもう完成しているのだとしたら、完成していない色を使って、自分だけの色を作ってみよう」と伝え、色を混ぜてみる。
13:30～13:45	旗づくり
	【環境設定】 ・子どもたち一人一人に事前に準備して、じっくり取り組めるように環境を整える。 ・子どもから出た発言はほかの意見も聞きあえるような環境にする。
	【準備物】 ・マーカー ・製作シート ・画用紙
	【事前の準備】 ・画用紙を切っておく。

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<ul style="list-style-type: none"> ・できたものに愛着をもてるように命名することを伝えて、わくわくした気持ちと作品に責任を持てるような働きかけを試みる。 ・最後に自分の作品を見せて作品名を発表する。 	<p>実際に制作に繋がったことはよい体験だったと感じます。</p>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<ul style="list-style-type: none"> ・学びから制作へつなげていったことは流れとしてはとても良いことと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に作った色を画用紙に塗って確認しながら進められたことで、色の混ぜ具合で様々に変化できる面白さを感じながら活動できたと思う。

実施クラス			実施日	実施保育者名
5	歳児	らいおん 組	1 月 14 日 (水)	平田 顕子

● 実施計画

活動テーマ		
おかね ～おかねってなんだろう～ お店屋さんごっこで交換を体験		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
・現金での買い物に親しみのない子供が増えたが、お年玉をもらったことでお金(現金)を見る機会が増えた時期でイメージしやすい時期だと考えられる。・お店屋さんごっこは何度も行っているがお金に注目することはない。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
9:50～10:00	・「お金って知ってる?」「どんなときに使うか?」を問いかける。	【環境設定】 ・自由に発言できるようにするが、友達の経験などをしっかり聞いて自分の経験を結び付けられるような意見を拾っていく。 ・おはじきを数えた経験や合わせていくつという数にも注目して、持っていくお金をみんなで決めて、実際のお金で買い物体験を楽しめるようにする。
10:00～10:50	・さくら会の花壇に花を買いに行くお手伝いを頼まれているのよ」とお金や買い物結びつくように話す。 ・実際のお金を持って商店街に買いものに行く。 ・物には値段があることや、表記(金額)に気づけるように、また全員が帰るように簡単な足し算の経験を活かせるように、話を進める。 ・花屋に行って花を選ぶ。お金を払う。 ・さくら会の花壇に花を植えに行く。	【活動使用教材】 ・ホワイトボード ・ボードマーカー ・模擬のお金 ・画用紙 【事前準備】 ・商店街の花屋に挨拶に行く。 ・花の値段と大体の金額を検討する。
10:50～11:00	・お釣りを持ち帰り、お金を使ったらなくなることを実際に経験する。	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>・お金を実際に使う場面を見ることが少なく、イメージが付きにくいいため、可能な限り、実体験と結び付けられるようにする。</p> <p>・買って終わりではなく、継続していけるようにしていくことで、経験が残るように工夫する。</p>	<p>・お金のイメージもなく、漠然と「自分には7000円ある」「お年玉でもらった」などお金でイメージできることが少なかった。</p> <p>・実際に買い物にすることで、お金を使ってみることで、1鉢ずつ値段が違うことなどに気づけるようにしたい。</p> <p>・実際のお店屋さんとのやり取りから、物売る方を知るきっかけになるようにしたいと考えられるように振り返る時間をしっかり持つ。</p>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>・現在は、お金を使う経験が家庭ではないことがよくわかった。子どもたちからも経験が語られることはほぼなかったが「お使いにいく」という言葉から花屋に行くこと、その花をさくら会の花壇に植えに行くことを楽しみにしていた。お金の使い方が誰かのために喜ばれているという実感が残った。</p>	<p>・子どもたちが普段よく行く花屋で買い物ができたことで、経験を伝える姿もあったし、保護者に説明するときも達成感が伝わっていると感じた。</p> <p>・一人一鉢、選んで一人ずつ会計ができたことは本当に良かったと感じた。</p>